

乙女高原が好き！1502号

いよいよ乙女高原の草原全体を囲うシカ柵が！

今年の秋から冬にかけて、乙女高原の草原全体を囲うシカ柵が設置されることになりました。『広報やまなし』2015年5月号によると、山梨市では観光施設維持管理事業（乙女高原シカ柵設置事業）として1,865万円が予算化されたとあります。「県からの補助金が申請の満額とれた」という前提での予算立てですから、この額通りになるとは限りませんが、少なくとも1千万円以上の事業になることは確実です。

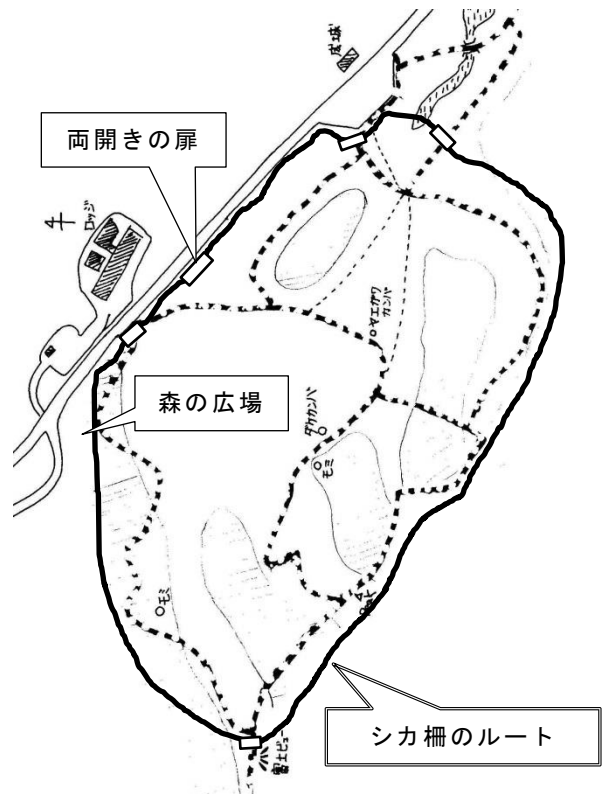
去る6月3日、山梨市・山梨県・乙女高原ファンクラブ合同で、市で考えたシカ柵設置ルートを実際に歩いてみました。今後、細かい変更はあるにしても、概略は右図のようになると思います。点線は現状の遊歩道、実線がシカ柵ルートです。シカ柵ルート途中にある□は扉です。全部で5箇所あり、4箇所は遊歩道と交差しているところ、1箇所は草刈りボランティアの際に草を搬出するための扉です。遊歩道と交差している扉は片開きですが、草搬出用の扉は大きく開くよう両開き（観音開き）となっています。

実際に歩いてみると、景観・傾斜などいろいろな条件を考慮して作られたルートであることがわかりました。とはいえ、まだ改良点はあると思います。せっかく1千万円もの税金を投入する事業です。できるだけいいものを作って、次の世代に豊かな乙女高原を譲り渡していきたいと思えます。ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

ファンクラブ世話人会等で出された意見は次の通りで、すでに市に伝えてあります。

- 1 柵の支柱に番号を付けておくと、たとえば柵が壊れたなどに場所を特定しやすい。
- 2 森のコース入口付近の「森の広場」はシカ柵中に確保したい。
- 3 駐車場（右図の右上）とシカ柵を近くすると、シカに入られる可能性がある。

なお、変な言い方ですが、今年の夏は「柵の無い乙女高原」の見納めです。ぜひ、乙女高原を訪れて、柵のない乙女高原の姿を目に焼き付けておいてください。そして、来年再来年と、シカ柵を設けた乙女高原がどう変わっていくのか、今年と比較して見守っていただきたいと思います。



写真：シカ柵ルート合同確認会

左：ルートの確認（森の広場付近）

右：扉設置場所の確認（富士ビュー付近）

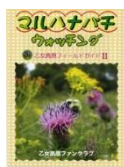
2015年6月3日

今年の夏も…乙女高原でお会いしましょう！！

■夏の乙女高原へ、「乙女なアイドルたち」に会いに行こう！～マルハナバチ調べ隊～
6/28(日)…終了, 8/2(日), 9/6(日) いずれの日も…午前10時～午後2時半

【プログラム】

- マルハナバチのかみしばい
- マルハナバチのライン・センサスちょうさ
- マルハナバチのまちぶせちょうさ
- ちょうさけっかのまとめとわかちあい



●集合場所 乙女高原グリーンロッジ前

●ボランティア調査員 募集 20人

小学校4年生以上。それより小さいお子さんでも保護者と一緒なら参加可。調査経験がなくても大丈夫。申し込み順。

●参加費 無料

ファンクラブの予算で行事保険に加入します。

●持ち物 筆記用具, べんとう, 雨具,

(他にルーペなど観察用具があれば)

●参加者へのプレゼント

『乙女高原フィールドガイドⅡ マルハナバチウォッチング』を参加者全員にプレゼント！！

■乙女高原を歩こう いろんな発見をしよう 谷地坊主って断面はどうなっているのかな？

8/23(日) 午前10時～午後2時半

- ・草原内で動植物の観察
- ・湿地の谷地坊主の断面を調査
- ・弁当, 飲み物を忘れないこと。



9月4日 9時～11時半。牧丘第一

小の5年生へのインタープリテーションを案内人のどなたかをお願いしたい。

※ご存じのように、牧丘・三富地区の4小学校は本年度をもって統合されます。

■草刈り実験+モニタリング調査

ここ数年、乙女高原でススキが増えている…という指摘をよく受けます。そこで、現状の11月以外に草を刈ることでススキの勢力を弱められないか？一昨年、実験を始めました。麻布大学野生動物学研究室の全面的な協力を得て行っています。

次回の草刈りは9月ですが、1カ月に1回モニタリング調査も行っています。

●第2回目の草刈り 9月13日(日) 午前10時～12時半 持ち物はべんとう, 雨具, 軍手

乙女高原でのスミレ観察から生物多様性を感じてください!!

乙女高原のスミレの多さに気づき、スミレのパンフレットを作ろうと思いついたのが2010年。「せっかくパンフを作るのなら、観察会もしよう」というパンフ編集代表の依田さんの一言をきっかけに2011年から始まったスミレ観察会。この観察会は今年でちょうど5周年。通算12・13回目を今年の春と初夏に開催したことになります。

依田さんのねらいは「どんぴしゃり」でした。観察会を開催することによって、乙女高原のスミレを見つめる機会が生まれ、スミレを見つめる人が増え、そして、乙女高原で見つかるスミレの種類も増えました。現在26種類です。こんなに狭い範囲に26種類というのは、本当に驚きです。

体は小さく、草丈も低い。春先に急いで花を咲かせ、あとは地味な生活を送るというスミレたちですが、よくよく見ると、ちょっとした生息環境の違い、ちょっとした花期の違いによって、微妙に棲み分け、多くの種類が乙女高原に共存しています。まさに生物多様性を体現していると思います。

今年の2回の観察会を依田さんがレポートしてくださいました。

●2015年度 第1回乙女高原スミレ観察会の報告 依田 昇 2015.05.10.

5月10日、乙女高原遊歩道づくりが早く終了した為、スミレ観察会を12時に前倒し、10分間乙女高原のスミレの説明をしてスタートしました、それでも13時30分に参加予定の方もいるかと思い、植原さんに後を託しました。

今回の参加者は麻布大学生、大竹、大山さん、帝京科学大学生、青木さん、石和から来た名前不詳の女性、ファンクラブの三枝、芳賀さん、後で植原さん、私と妻三枝子の9名です。

高原で一足早く太陽が届く場所、ヨモギ頭を目指しました。例年森の道ではエイザンスミレがたくさん見られますが昨年今日も小さい花が4~5個見つかっただけでした。ヨモギの頭では、アケボノスミレがもう終りに近く、数はありましたが、色はかなりうすくなっていました、アカネスミレ、タチツボスミレ、は見る事ができました。ヒゴスミレに関して、葉がたくさん見つかり、花は一輪だけでしたがきれいな花が見られました。増えてくれることを期待します。

一番の問題はヒナスミレが、ここでも四季の森でも全く花が見られなかった事です、下見に来た5月2日も違う場所ではいくつか見つかりましたが、今日歩いた所では見つかりませんでした。小さい葉はあったので、季候的になにか変化が起きているのかも考えられます。

四季の森のミヤマスミレは咲いていましたが、形は少し小さく感じました。

最後に、乙女湖上に移動しました。数は少なかったもののシコク、オトメには出合う事ができました。

ここで解散となりました。何とか8種のスミレを見る事ができました。この後の第2回目の観察会はサクラスミレ中心の会になると思いますが、実のある観察会ができるように希望をもちたいと思います。



●2015 年度 第2回乙女高原スミレ観察会の報告 依田 昇 2015.05.31.

5月31日、今年2回目のスミレ観察会を行いました。10時スタート、参加者は植原恵子さんの友人、古屋さんご夫妻、三枝さんのお孫さんひなちゃん、ファンクラブの会員の小林さん、井上さん、芳賀さん、三枝さん、植原さんご夫妻、依田昇、三枝子11名でした。少ない参加でしたが、それだけ身近に感じた楽しい観察会になりました。

今回も前回同様、種類も数も多くは見ることはできませんでした。森の道ではこの時季ではあまり見られないアケボノスミレに会いました。夏葉に近付いているエイザンスミレの葉は沢山ありました。来年は多数の花に会えるでしょう。ヨモギ頭では、数は少なかったがアカネスミレ、シロバナエゾノタチツボスミレ、マンジュリカを見ることができました。

高原に場所を移しサクラスミレとその関連種の観察に、いつもこの時季には満開のサクラスミレが見られるのですが、今回はかなり少ないように思いました。株も小さめのものが目立ちました。いつもの場所にシロバナサクラスミレが一株咲いていました。1~2週間前には三株咲いていたとの情報もあり、まだ残っている事を確信しました。アルガスミレ、チシオスミレも全員で探しましたが見付けることはできませんでした。

午後、湿地帯に場所を移し観察、ニョイスミレ、エゾノタチツボスミレは見つかりましたが、昨年たくさん見つかったソラムキタツボスミレ、キョナシタチツボスミレは咲き終わっていました。今年はタチツボスミレ、アカフタチツボスミレの花にも出会えませんでした。葉は残っていましたので、今年は早く咲き終わってしまったのでしょうか。

観察会が毎日出来ればよいのですが、最近のように天候が不順な年は咲いている時季に標準が合わせられず、参加者をがっかりさせてしまいます。今日の観察会、少ないスミレで心配していましたが8種類のスミレに出会えました。また、満開に近付いているレンゲツツジ、ズミ、赤、白、ピンクのクリンソウ、ササバギンラン、シロバナヘビイチゴ、マイヅルソウ、サンリンソウ、チゴユリ、ヤマハタザオ、オオヤマフスマ、ギンリョウソウ、等々の花々も観察することができました。

こうして第2回スミレ観察会を無事終了しました。これから夏の乙女高原ではたくさんの山野草の花が咲き、アサギマダラ、マルハナバチが花と花を飛び交い、素晴らしい高原になります、皆さんお出かけ下さい。



今年も順調に作業が進みました～遊歩道づくり～

16回目の遊歩道づくりは(も)とてもいい天気でした。今年も61人もの参加者に恵まれて、無事遊歩道づくりが行われました。例年に比べ参加者が少なかったですが、例年と違って遊歩道づくりのみを扱ったちらしを作らなかったからかなあと思いました。

さて、今回も受付終了後、杭にロープをどのように縛るか(「とっくり結び」といいます)の練習をしていただきました。今回は遊歩道づくりの常連さんが講師を買って出てくださいました。さすがはもう16年も続いている活動です。

各コースのスタッフは、それぞれのコースにつき、乙女高原ファンクラブのスタッフと県有林課のスタッフがあたりました。この「スタッフ」(参加して下さったボランティアの皆さんの世話役)、年々、立候補する方が少なくなって困っています。16回目となるイベントですからね、だいぶ「高齢化」が進んでいます。始めの会終了後、森のコース、草原のコース、ツツジのコースの3コースに分かれ、それぞれ打ち合わせをしてから、杭やロープを持って出発です。市長さんも杭を打つ作業をしてくださいました。

今回の遊歩道づくりでは、ロープがからまってしまう事件が何カ所かで起きました。一度、ロープがからまってしまうと大変です。ロープの途中で切らざるを得ないケースもありました。どなたか、からまりにくいロープの解き方、ご存じありませんか？

受付でペットボトルのお茶を配るにしましたが、暑くてのどがかわくので、ちょうどよかったです。今回も田丸グリーン基金と山梨ロータリークラブの方々が大勢参加していただきました。このような団体参加はおおいに歓迎です。お仲間と一緒に、グループで、学校のサークル活動として、育成会・子どもクラブ単位で、企業の皆さんのCSR(社会貢献活動)として…、乙女高原の自然を守る活動にご参加ください。

山梨ロータリークラブの皆さん。後ろにちらっと見えるのはクラブから寄付していただいた案内看板



田丸グリーン基金の皆さん。今年も多額の寄付金をいただきました。「企業による社会貢献」です。



草刈り実験 in 乙女高原 2015

10メートル四方の正方形を草原内に設定し(これを「コドラート」といいます)、コドラートごとに草刈りの時期を変えたらどうなるか?…を調べる実験を麻布大学野生動物研究室と始めて3年目。

今年も6月14日に第1回目の刈り取りと調査を行いました。ちなみにコドラートは全部で6つ。それぞれの草刈り時期は以下の通りです。

- ①6月区……………6月に区内の全植物を刈り取って効果をみる。
- ②9月区……………9月に区内の全植物を刈り取って効果をみる。
- ③11月区……………11月に区内の全植物を刈り取る(現行の刈り取りの効果の確認)。
- ④2度刈り区……………6月と9月に区内の全植物を刈り取って、2度刈りの効果をみる。
- ⑤選択刈り区………6月に区内のススキのみを刈り取って効果をみる。
- ⑥刈り取りなし区…全く刈り取りをしない区。

今回は6月に刈るべきコドラート①④⑥の草刈りをし、刈った草の重さを計測し、ススキの高さも計測しました。①～⑥をススキの高さ順に並べるとどうなると思いますか？

次回の草刈り実験は、9月13日(日)午前10時～12時半の予定です。ぜひ、ご参加ください。



上のグラフをみると、①11月に草刈りしてもしなくても「ススキの長さ」には影響がない、②草刈りの影響が強い順に2回刈り(6・9月)>9月刈り>6月刈り…であることがわかりました。写真は左が11月区のススキ、右が6・9月区のススキの様子です。2シーズンを経過し、大きな差が生じました。

報告 マルハナバチ調べ隊 (6/28)

今回のマルハナバチ調べ隊は「ヤッター！」と思えることと「ざんねん！」と思えることが交互にありました。

ヤッター！ その1…週間天気予報であれほど「雨」と言われていて、開催をあきらめていたのですが、当日はすっかりした晴。朝、富士山がくっきり見えました。

ざんねん！ その1…事前の申し込み者が3組しかいなかったこと。たまたま「マルハナバチ2005」というDVDを持っていき、パソコンを使って、みんなで見たのですが、10年前は20人もの参加者がいたんですよ。どうしたら多くの方に乙女高原の活動を知っていただくことができるのでしょうか。

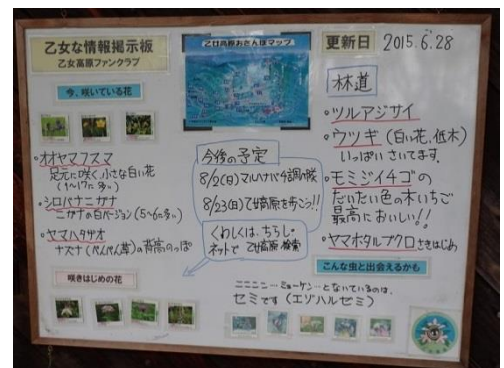
ヤッター！ その2…林道途中でモミジイチゴの実が熟しているのを発見。堪能しました。いやー、おいしいことよ。いったら、ありません。とはいえ、以前ほどたくさんはありません。崖崩れ防止のフェンスが張られている箇所だけです。ここはフェンスのためにシカが入って来られないので、シカに食べられなくて済むからです。

ざんねん！ その2…マルハナバチ調べ隊のラインセンサス調査で1時間、乙女高原の草原を歩きましたが、1頭も見つけることができませんでした。マルハナバチが1頭もない乙女高原なんて…。シカの食害によって花が少なくなったのが原因の一つと考えられます。この時期、以前は群れて咲いていたアヤメがポツリポツリとしかありません。ポツリポツリとしかないアヤメを巡回して蜜を集めるなんて、効率が悪いです。ぼくがマルハナバチだったら、そんなことしようとは思いません。費用対効果を考えると、得策ではありませんものね。

もう一つの原因は、今年のレンゲツツジの花期が早かったことです。2週間前の「草刈り実験」の際には、レンゲツツジを訪れるコマルハナバチの働きバチをたくさん目撃しましたが、今はもうレンゲツツジが咲き終わっています。マルハナバチが来るわけがありません。

ヤッター！ その3…ラインセンサス調査をしてもマルハナバチが一匹もいなかったのですから、午後からの「待ち伏せ調査」はあきらめ、代わりに自然観察会を行いました。ブナじいさんにあいさつし、ツツジ・コースを下ってきたときのことです。小林さんが見つけました！ ギンジョウソウの花にトラマルハナバチが来ているところを。花粉集めか、蜜を吸っていたのか確認できず、ましてや写真を撮ることもできませんでした。ぼくもこの目でしかと見ました。やっぱりギンジョウソウにはマルハナバチが来るんですね。「見たい！」と思って10年越しの初体験でした。

ちなみに、頭上からもマルハナバチの羽音がしてきます。そうなんです、マルハナバチ・ファンクラブのメンバーである我々は、羽音で彼女らの存在を感じるんです。みると、ニシキウツギの花にマルハナバチが来ています。双眼鏡で確認すると(双眼鏡を使うのはバードウォッチングだけではありません！)、やはりトラマルハナバチでした。草原にいないマルハナバチたちは、森に来ているようですね。



乙女高原グリーンロッジの玄関扉に、このような「情報掲示板」を付けています。乙女高原に来たら、ぜひご覧くださいね。

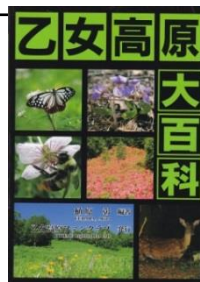
乙女高原ファンクラブの事務局だよ

●NHK 総合テレビ日曜 7:45 「さわやか自然百景」に乙女高原が出る予定（放映日未定）お楽しみに

乙女高原ファンクラブの刊行物

乙女高原とファンクラブ11年間の集大成『乙女高原大百科』

(A5判 602頁) 草刈り開始後から配信している乙女高原メールマガジン 11年間 268号の中身を編集したら厚さ3cmの本になってしまいました。一部カラー。希望者には実費でお分けします。1冊2,000円, 送料は1・2冊なら360円。欲しい方は郵便振込で1冊なら2,360円送金してください。



乙女高原インタープリテーションのテキスト『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』

(A4判 186頁) 乙女高原案内人養成講座の中身と、その後の案内人の活動の様子を一冊の本にしました。希望者には実費でお分けします。1冊1,000円, 送料は一冊につき82円。欲しい方は郵便振込で1冊につき1,082円を送金してください。

乙女高原フィールドガイド シリーズ

欲しい方は事務局までご連絡ください。



フィールドガイドIII スミレの観察のおともに『乙女高原のスマレ・ウォッチング』

(A3判両面カラー) 乙女高原では、なんと18種類ものスマレを観察できます。このフィールドガイドでは乙女で見られるスマレたちのプロフィールを紹介するとともに、スマレ観察のポイントをていねいに解説しました。

フィールドガイドII マルハナバチの観察と調査のおともに『マルハナバチ ウォッチング』

(A3判両面カラー) マルハナバチの生態、ファンクラブで行っている調査、乙女高原で見られる6種(+2種)のマルハナバチの見分け方をコンパクトにまとめました。

フィールドガイドI 春から夏にかけて咲く草花のガイド『乙女高原のお花たち』

(A3判両面カラー) フィールドガイド第1号。春から秋に咲く47種類の草花を写真つきでコンパクトに紹介。草丈表示と草花の一言コメントが「分かりやすい」と評判です。2013年6月第3版発行。

■乙女高原ファンクラブの普通会員になりませんか？

『数は力』という側面もあります。ファンクラブの会員が多くなれば、それだけ乙女高原の保全に対するファンクラブの発言力が増します。まわりの方をファンクラブに『巻き込む』ことも乙女高原を守る活動の一つです。まわりの方にファンクラブをお勧めください。

乙女高原ファンクラブに入会するには・・・

- ・「入会します 氏名・郵便番号・住所・電話番号」というファックス、メール、手紙等を事務局までお届けいただければ、いつでも、だれでも会員になれます。
- ・入会金も年会費もありません。乙女高原を守る力が1人分、大きくなります。
- ・普通会員には年4回、サポーター会員には年1回、ニュースレターが届きます。
- ・普通会員には総会出席の義務がありますが(委任状可)、サポーター会員にはありません。

■乙女高原ファンクラブへの連絡先■

【事務局】 植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3

TEL/FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp

※会報への原稿や写真等の投稿もこちらにお送りください。

WEB <http://fruits.jp/~otomefc/>

●郵便振込● (番号) 00220-8-71093 (加入者名) 乙女高原ファンクラブ